



アクサ生命の変額個人年金保険

5年計画

保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)付変額個人年金保険(06)
保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)

特別勘定（世界分散型3ODI） 月次運用レポート

2012年12月

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント

**【利用する投資信託の委託会社】 DIAMアセットマネジメント株式会社**

1999年に第一ライフ投信投資顧問、興銀NWアセットマネジメント、日本興業投信の3社が合併して発足しました。競争力のある運用ノウハウ・人材を結集し、高品質な商品およびサービスをご提供しています。

- ・アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)/(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。
- ・特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「保証金額付特別勘定年金特約(定期Ⅰ型)/(定期Ⅱ型)付変額個人年金保険(06)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(■契約概要、■注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06）
保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06）
特別勘定の月次運用レポート（2012年12月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2012年12月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇し、TOPIX(東証株価指数)は前月末比+10.02%上昇の859.80ポイントで終了しました。

前半は、自民党の政権公約への期待や円安の進行、中国株の急反発などから上昇基調で推移しました。後半は、衆議院選挙で自民党が圧勝し、デフレ脱却に向けた大型景気対策への期待や、日銀への金融緩和と圧力が高まるなどの観測などから上昇基調を強めました。また、円安が加速したことも上昇要因となりました。

業種別(東証33業種)では、株式市場の上昇を受けて「証券、商品先物取引業」(前月末比+37.91%)が最も上昇した一方、ディフェンシブ銘柄の「医薬品」(同▲0.15%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、前半は、11月のISM(全米供給管理協会)製造業景況指数が悪化する一方、11月の失業率が低下するなどの経済指標から揉み合いで始まりましたが、その後、FOMC(米連邦公開市場委員会)で追加金融緩和が決定されたことなどを背景に上昇しました。後半は、11月の中古住宅販売件数などの経済指標が改善したことなどから、一時上昇する局面もありましたが、根強い「財政の崖」問題への懸念などから下落しました。しかし、月末に同問題が解決するとの見方が広がり、上昇に転じ、ダウは前月末比+0.60%上昇の13,104.14ドルで終了しました。

欧州株式市場は、前半は、米国の「財政の崖」問題の協議進展やギリシャの国債買戻し策発表により同国向け支援実行が近づくとの見方などを受けて上昇しました。後半は、「財政の崖」問題への懸念の高まりなどから一時下落する局面もありましたが、楽観的な見方もあり、ほぼ横ばいで推移しました。市場別騰落率は、英FT100が前月末比+0.53%上昇、仏CAC40が同+2.36%上昇、独DAXが同+2.79%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、前半は、日銀の追加金融緩和への期待などから国内機関投資家の買い姿勢が強まり、金利は低水準で推移しました。しかし後半は、大規模な財政出動による国債増発が懸念され、金利は上昇(価格は下落)し、新発10年国債利回りは、0.795%となりました(前月末は0.700%)。

日銀は、政策金利を据え置き、年0~0.1%程度を維持しました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、前半は、11月のISM製造業景況指数が悪化する一方、11月の失業率が低下するなどの経済指標などから、金利は揉み合いで始まりましたが、その後、インフレ期待の上昇などから上昇(価格は下落)しました。後半は、住宅関連指数の改善などを受けて金利は上昇(価格は下落)する局面もありましたが、「財政の崖」問題が根強いことなどから低下(価格は上昇)しました。しかし月末に同問題が解決するとの見方が広がり、金利は上昇(価格は下落)に転じ、米10年国債利回りは、月末は1.757%となりました(前月末は1.616%)。

欧州債券市場は、前半は、イタリア政局の不透明感の高まりなどを受け、金利は低下(価格は上昇)しました。後半は、景況感指標の改善などから上昇(価格は下落)しました。しかし月末にかけて、米国の「財政の崖」問題の悲観的な見方などから金利は再度低下(価格は上昇)して月末を迎え、独10年国債利回りは、月末には1.316%となりました(前月末は1.386%)。

FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を年0.75%で維持しました。

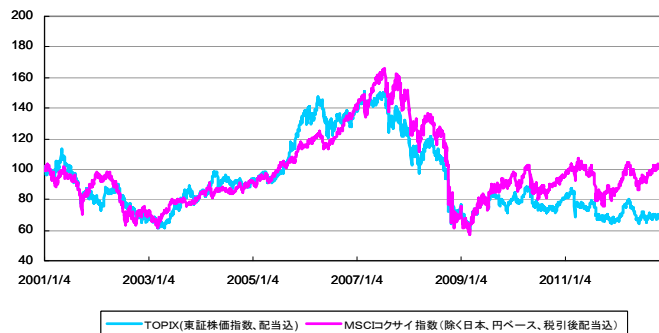
【外国為替市場】

米ドル/円相場は、前半は、米国の「財政の崖」問題への懸念の高まりなどから円が買われる動きも見られました。後半は、総選挙後の新政権下での日銀への金融緩和と圧力が高まるなどの見方などから円が売られ、円は対ドルで前月末比4円46銭(5.43%)円安ドル高の1ドル=86円58銭となりました。

ユーロ/円相場は、前半は、利下げ観測の台頭などから一時的にユーロが下落しましたが、ギリシャの国債買戻し策発表により同国向け支援実行が近づくとの見方や景況感指標の改善などから、円安ユーロ高が進みました。後半は、日本の金融緩和強化に対する期待などからユーロ高が進み、円は対ユーロで前月末比8円16銭(7.66%)円安ユーロ高の1ユーロ=114円71銭となりました。

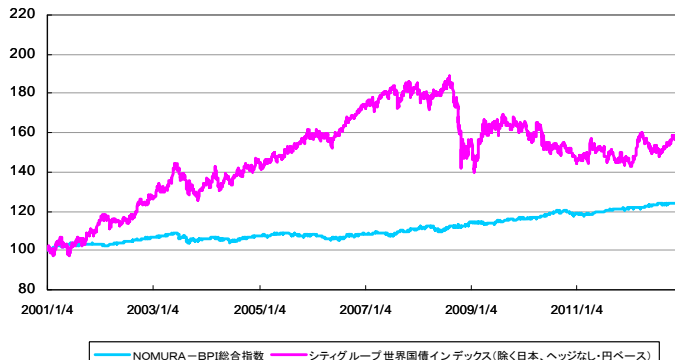
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

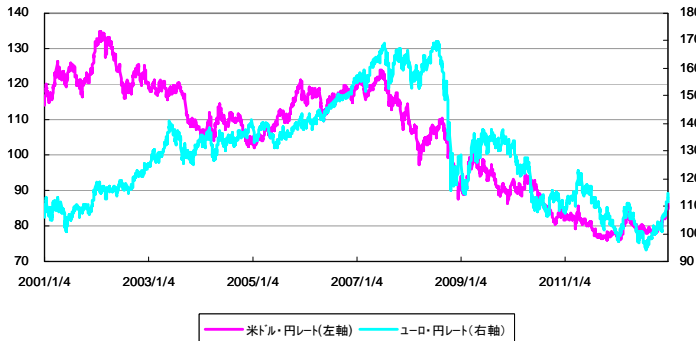


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所: 株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06）
 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06）
特別勘定の月次運用レポート （2012年12月）

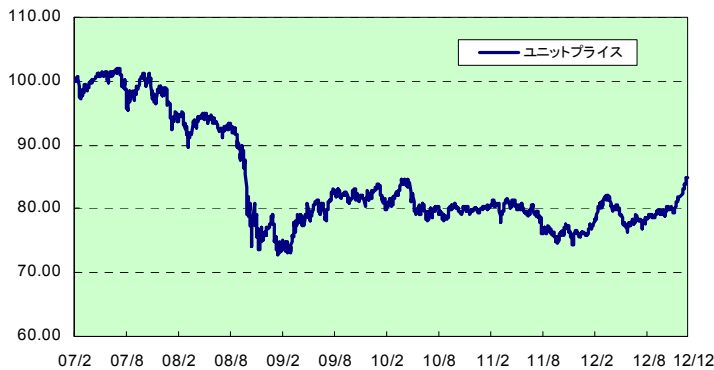
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
 ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2012年12月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型30DI	<ul style="list-style-type: none"> ● 当ファンドは、日本および世界の株式、債券などへ分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。投資対象となる各資産の合成インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに連動する投資成果を目指します。 ● 基本資産配分比率は下記の通りとなります。当ファンドにおいて、外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。 国内株式：10% 外国株式：20% 国内債券：30% 外国債券(為替ヘッジなし)：25% 外国債券(為替ヘッジあり)：15% ● リバランスは、1ヵ月毎(月末時点)に基本資産配分比率に戻すことを原則とします。 ● 当ファンドの主なリスクとして、価格変動リスク、為替リスク、信用リスク、金利変動リスクなどがあります。
利用する投資信託	
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA (適格機関投資家限定)	

■特別勘定のユニットプライスの推移

※特別勘定のユニットプライスは、各特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定の ユニットプライス		騰落率(%)	
2012年12月末	84.86	過去1ヵ月	3.76
2012年11月末	81.79	過去3ヵ月	7.11
2012年10月末	79.89	過去6ヵ月	8.98
2012年9月末	79.23	過去1年	11.34
2012年8月末	78.53	過去3年	2.45
2012年7月末	78.06	設定来	▲ 15.13

・世界分散型30DIの特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2007年2月13日)を100.00として計算しております。
 ・騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する今月末のユニットプライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型30DI	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	13,686,380	99.5
現預金・その他	75,409	0.5
合計	13,761,789	100.0

・特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
 ・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

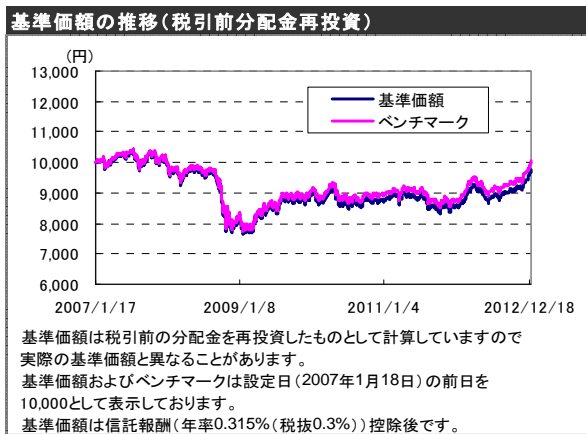
【引受保険会社】
 アクサ生命保険株式会社
 〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
 TEL: 0120 375 193
 アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の月次運用レポート（2012年12月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)の運用状況 [2012年12月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



分配金情報(税引前) ※分配金は1万円当たり

第4期 (2010.06.22)	分配金	0 円
第5期 (2011.06.22)	分配金	0 円
第6期 (2012.06.22)	分配金	0 円
設定来累計分配金		0 円

※直近3年分
※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2012/11/30)	3ヵ月 (2012/09/28)	6ヵ月 (2012/06/29)	1年 (2011/12/30)	3年 (2009/12/30)	5年 (2007/12/28)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	3.98%	7.76%	10.30%	13.99%	9.79%	-3.71%	-2.25%
ベンチマーク	4.01%	7.96%	10.54%	14.52%	10.96%	-1.53%	0.48%
差	-0.03%	-0.20%	-0.24%	-0.53%	-1.17%	-2.18%	-2.73%

※騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りと異なる場合があります。

ファンドの特色

主な投資対象	主として国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド、国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンドおよび外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドの各受益証券への投資を通じ、国内株式・国内債券・外国株式・外国債券へ投資します。
投資方針	マザーファンド受益証券への投資を通じ、内外の株式および公社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。
ベンチマーク	以下の各資産のベンチマークを基本資産配分比率で組入れた合成指数とします。

各資産のベンチマーク

【国内株式】	東証株価指数(TOPIX、配当込み)
【国内債券】	NOMURA-BPI総合
【外国株式】	MSCIロクサイ・インデックス(円換算ベース、配当込み)
【外国債券(為替ヘッジなし)】	シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)
【外国債券(為替ヘッジあり)】	シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入の有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保障するものではありません。○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとす基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。○投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当月末基準価額・純資産総額

基準価額	9,775 円
純資産総額	28,565 百万円
設定日	2007年1月18日
決算日	原則 6月 22日
信託期間	無期限

ポートフォリオ構成

	実質組入比率	基本資産配分比率	差
国内株式	10.1%	10.0%	0.1%
国内債券	29.4%	30.0%	-0.6%
外国株式	20.1%	20.0%	0.1%
外国債券	39.9%	40.0%	-0.1%
現金等	0.4%	0.0%	0.4%
合計	100.0%	100.0%	-


※計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより、ファンドの実質組入比率と基本資産配分比率が、一時的に大幅に乖離したり「現金等」の比率がマイナスになる場合があります。

※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

※外国債券の資産配分比率である40%のうち、15%相当部分を為替ヘッジします。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント 

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命  <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の月次運用レポート（2012年12月）

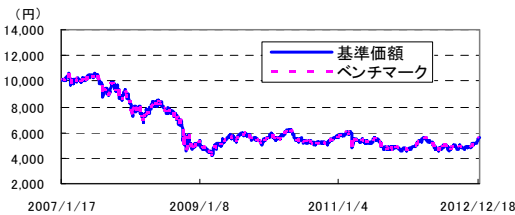
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2012年12月末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

◆国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド◆

※比率は組入株式評価額に対する割合です。



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX、配当込み)です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数:1682銘柄)

No	銘柄	業種	比率(%)
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.34
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	2.91
3	本田技研	輸送用機器	2.24
4	三井住友フィナンシャルG	銀行業	1.96
5	キャノン	電気機器	1.75
6	みずほフィナンシャルG	銀行業	1.69
7	ファナック	電気機器	1.40
8	武田薬品	医薬品	1.28
9	日本電信電話	情報・通信業	1.27
10	三菱地所	不動産業	1.20

※株式には新株予約権証券を含む場合があります。

騰落率

	1ヵ月 (2012/11/30)	3ヵ月 (2012/09/28)	6ヵ月 (2012/06/29)	1年 (2011/12/30)	3年 (2009/12/30)	5年 (2007/12/28)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	10.15%	16.74%	12.97%	20.85%	1.30%	-35.31%	-43.33%
ベンチマーク	10.14%	16.73%	12.94%	20.86%	1.28%	-35.27%	-43.33%
差	0.01%	0.02%	0.03%	-0.01%	0.02%	-0.04%	-0.00%

純資産総額 285,123 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

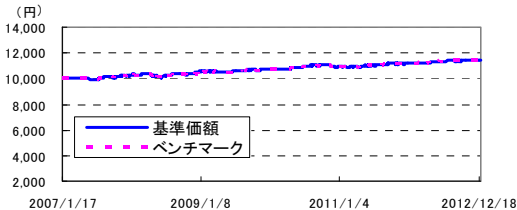
■東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

組入上位10業種

	業種名	当ファンド	ベンチマーク	差
1	電気機器	12.13	12.13	0.01
2	輸送用機器	11.22	11.22	-0.00
3	銀行業	10.38	10.38	-0.00
4	情報・通信業	5.95	5.95	-0.00
5	化学	5.72	5.72	0.00
6	機械	5.21	5.21	0.00
7	卸売業	5.20	5.20	-0.00
8	医薬品	4.80	4.80	-0.00
9	小売業	4.11	4.11	0.00
10	陸運業	4.04	4.04	0.00

◆国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入債券評価額に対する割合です。



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、NOMURA-BPI総合です。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数:604銘柄)

No	銘柄	比率(%)
1	3 2 1 回 利付国庫債券(10年)	1.54
2	8 1 回 利付国庫債券(5年)	1.37
3	3 2 5 回 利付国庫債券(10年)	1.32
4	1 0 5 回 利付国庫債券(5年)	1.32
5	1 0 6 回 利付国庫債券(5年)	1.32
6	3 1 3 回 利付国庫債券(10年)	1.21
7	3 1 0 回 利付国庫債券(10年)	1.11
8	3 0 6 回 利付国庫債券(10年)	1.10
9	2 9 3 回 利付国庫債券(10年)	1.09
10	1 0 3 回 利付国庫債券(5年)	1.08

騰落率

	1ヵ月 (2012/11/30)	3ヵ月 (2012/09/28)	6ヵ月 (2012/06/29)	1年 (2011/12/30)	3年 (2009/12/30)	5年 (2007/12/28)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	-0.31%	-0.08%	0.42%	1.79%	6.06%	11.17%	14.00%
ベンチマーク	-0.29%	-0.06%	0.45%	1.86%	6.30%	11.44%	14.33%
差	-0.02%	-0.02%	-0.03%	-0.07%	-0.24%	-0.27%	-0.33%

純資産総額 419,789 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

■NOMURA-BPI総合は野村證券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数で、野村證券株式会社の知的財産です。

セクター別比率

	組入比率	ベンチマーク	差
国債	78.48%	77.18%	1.30%
地方債	6.82%	7.32%	-0.50%
金融債	1.16%	1.18%	-0.02%
政保債	4.25%	4.22%	0.03%
社債	8.40%	7.86%	0.54%
円建外債	0.24%	0.71%	-0.47%
MBS	0.64%	1.37%	-0.73%
ABS	0.00%	0.16%	-0.16%
合計	100.00%	100.00%	-

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利利回り	0.65%	0.65%	-0.00%
平均クーポン	1.41%	1.39%	0.02%
平均残存期間	8.44	8.16	0.28
修正デュレーション	7.38	7.23	0.15

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。

※「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづきのものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。

※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことで表面利率をあらわします。

※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクがあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したもとの基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。○投資信託は、1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/life/>

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） 特別勘定の月次運用レポート（2012年12月）

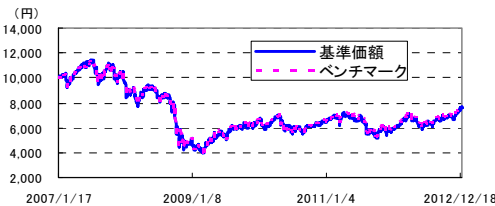
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるDIAMアセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、DIAMアセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 [2012年12末日現在]

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニットプライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

◆外国株式バッシュ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入株式評価額に対する割合です。



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み）です。

騰落率

	1か月 (2012/11/30)	3か月 (2012/09/28)	6か月 (2012/06/29)	1年 (2011/12/30)	3年 (2009/12/30)	5年 (2007/12/28)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	7.04%	13.13%	23.65%	30.35%	16.83%	-26.70%	-23.45%
ベンチマーク	7.03%	13.30%	23.81%	30.84%	17.65%	-25.26%	-21.81%
差	0.01%	-0.17%	-0.16%	-0.50%	-0.82%	-1.43%	-1.64%

純資産総額 296,192 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

■MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に属しており、また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

組入上位10銘柄

（組入銘柄数：1273銘柄）

No	銘柄	国名	業種	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	コンピュータ・周辺機器	2.06
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	1.71
3	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	コングロメリット	0.93
4	CHEVRON CORP	アメリカ	石油・ガス・消耗燃料	0.91
5	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品	0.90
6	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	情報技術サービス	0.89
7	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア	0.87
8	AT&T INC	アメリカ	各種電気通信サービス	0.83
9	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品	0.83
10	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	商業銀行	0.82

※株式には投資証券、投資信託受益証券及び新株予約権証券を含む場合があります。

組入上位10カ国

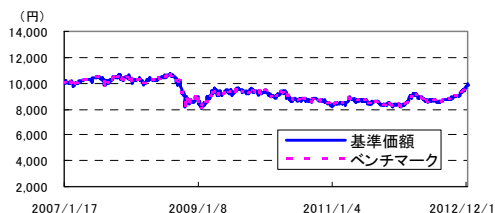
No	国名	比率
1	アメリカ	55.08%
2	イギリス	10.16%
3	カナダ	5.34%
4	スイス	4.62%
5	フランス	4.38%
6	オーストラリア	4.14%
7	ドイツ	4.13%
8	スウェーデン	1.45%
9	スペイン	1.44%
10	オランダ	1.37%

組入上位10業種

No	業種名	比率
1	エネルギー	11.12%
2	銀行	8.01%
3	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.83%
4	資本財	7.39%
5	素材	7.01%
6	食品・飲料・タバコ	6.88%
7	ソフトウェア・サービス	6.14%
8	各種金融	4.92%
9	保険	4.34%
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.34%

◆外国債券バッシュ・ファンド・マザーファンド◆

※比率は組入債券評価額に対する割合です。



※基準価額およびベンチマークは2007年1月17日の値を10,000として指数化しております。
※ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス（除日本、ヘッジなし・円ベース）です。

騰落率

	1か月 (2012/11/30)	3か月 (2012/09/28)	6か月 (2012/06/29)	1年 (2011/12/30)	3年 (2009/12/30)	5年 (2007/12/28)	設定来 (2007/01/17)
当ファンド	6.65%	14.13%	16.42%	19.87%	7.09%	-5.77%	0.10%
ベンチマーク	6.58%	14.32%	16.50%	19.91%	6.55%	-5.56%	0.14%
差	0.07%	-0.19%	-0.08%	-0.03%	0.54%	-0.21%	-0.04%

純資産総額 395,342 百万円

※設定来の騰落率は2007年1月17日を基準に算出しています。

■シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券インデックスです。

組入上位10銘柄

（組入銘柄数：456銘柄）

No	銘柄	通貨	組入比率(%)	残存年数
1	US T N/B 4.75 05/15/14	米ドル	0.95	1.381
2	US T N/B 4.0 02/15/14	米ドル	0.93	1.131
3	US T N/B 1.75 03/31/14	米ドル	0.91	1.258
4	US T N/B 0.25 09/15/14	米ドル	0.90	1.714
5	US T N/B 2.375 09/30/14	米ドル	0.81	1.756
6	US T N/B 4.25 11/15/14	米ドル	0.72	1.881
7	US T N/B 2.5 03/31/15	米ドル	0.71	2.258
8	US T N/B 2.625 06/30/14	米ドル	0.70	1.506
9	US T N/B 1.25 08/31/15	米ドル	0.69	2.675
10	US T N/B 4.25 08/15/14	米ドル	0.67	1.631

通貨別比率

通貨	比率
ユーロ	41.42%
米ドル	41.23%
イギリス・ポンド	7.98%
カナダ・ドル	2.77%
オーストラリア・ドル	1.58%
メキシコ・ペソ	0.97%
デンマーク・クローネ	0.82%
ポーランド・ズロチ	0.80%
スウェーデン・クローネ	0.62%
南アフリカ・ランド	0.59%
マレーシア・リンギット	0.52%
ジンバブエ・ドル	0.44%
ノルウェー・クローネ	0.26%
合計	100.00%

ポートフォリオの状況

	当ファンド	ベンチマーク	差
平均複利利回り	1.53%	1.55%	-0.02%
平均クーポン	3.70%	3.21%	0.49%
平均残存期間	8.00	7.64	0.36
修正デュレーション	6.05	6.12	-0.07

※ポートフォリオの状況は純資産総額をもとに計算しております。

※「複利利回り」とは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
※「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受取れる利息の割合のことです。表面利率をあらわします。
※「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が作成したものです。○当資料は情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。○投資信託は、実質的に株式や債券等の値動きのある有価証券（外貨建て資産には為替リスクがあります）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行元による信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。○当資料は、DIAMアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、当社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当資料に記載されている運用実績は税引前配金を再投資したものである。税金および手数料は計算に含まれておりません。○当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。○投資信託は1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2. 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

設定・運用は
DIAMアセットマネジメント



【募集代理店】 取扱者（生命保険募集人）
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命「AXA」 http://www.axa.co.jp/life/

保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅰ型）付変額個人年金保険（06） 保証金額付特別勘定年金特約（定期Ⅱ型）付変額個人年金保険（06） リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動（増減）するしくみの変額個人年金保険です。特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行なっており、株式および公社債の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払い戻し金額等が一時払保険料等を下回る場合があります。

【諸費用について】

⚠ ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は、契約初期費用・保険契約管理費・運用関係費の合計金額となります。なお、年金種類の変更により一般勘定年金を選択された場合には、年金管理費がかかります。

特別勘定繰入前に控除される費用

項目	費用	ご負担いただく時期	
契約初期費用	ご契約の締結などに必要な費用	一時払保険料に対して 5% (例)一時払保険料1,000万円の場合、 50万円	一時払保険料を特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

据置期間中に控除される費用

項目	費用	ご負担いただく時期	
保険契約管理費	特別勘定年金受取累計金額(既払年金累計金額)と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1	特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約87円	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用(特別勘定年金受取期間中)

項目	費用	ご負担いただく時期	
保険契約管理費	特別勘定年金受取累計金額(既払年金累計金額)と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持などに必要な費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.3% (例)その日の特別勘定の積立金額が1,000万円の場合、 1日あたり約631円	毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費*1	特別勘定の運用などに必要な費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.315%程度 (税抜き:年率0.30%) (例)その日の投資信託の純資産額が1,000万円の場合、 1日あたり約87円	特別勘定にて利用する投資信託において、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

年金受取開始日以後に控除される費用(年金の種類の変更により一般勘定年金を選択した場合)

※「年金払特約(06)」により年金をお受け取りいただく場合を含みます。

項目	費用	ご負担いただく時期	
年金管理費*2	年金のお支払いや管理などに必要な費用	年金額に対して 1.0% (例)年金額が100万円の場合、 1万円	年金受取日に、責任準備金から控除します。

*1 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量などによって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。なお、運用関係費は運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、将来変更される可能性があります。

*2 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他の留意事項について】

■受取総額保証金額(定期型)

受取総額保証金額の最低保証は、据置期間(5年～17年)と特別勘定年金受取期間(3年～15年)の合計期間が20年である場合に限りません。積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【募集代理店】 取扱者(生命保険募集人)
株式会社みずほ銀行

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
〒108-8020 東京都港区白金1 17 3
TEL: 0120 375 193
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/life/>